

「あなた」のこれからの5年間の思いを描いて
このページに書いてみましょう
(目標・夢・希望・予想・人生設計…)

2022



2023



2024



2025



2026

谷山小学校付近には、江戸時代、島津藩直轄谷山郷の地頭館（地頭仮屋）が置かれ、その周辺には「麓」と呼ばれる薩摩独特の武家集落が形成されていました。町村制施行により、谷山郷の区域から谷山村が生まれ、以降、谷山町、谷山市、鹿児島市と変遷。先人たちは、はるか昔から、この土地で暮らしを営み、長い歳月を経て、次第に今日的なコミュニティが築かれてきました。

時は流れ、“みんな一緒”の「成長社会」から“人それぞれ”の「成熟社会」へと急速に変遷しています。多くの方が指摘しているように、近年は人と人とのつながり（コミュニティ）が希薄になり、地域住民の対話や交流は少なく、近所同士でもあいさつしない、隣に住んでいる人もよく知らない、という状況になりつつあります。

しかし、過去から今日に至るまで、地域に暮らす人々が日々の暮らしを少しでも快適なものであってほしいと願い、地域住民同士がつながりを持ち、支え合いや助け合いの関係を築く「地域コミュニティの価値（大切さ）」に何ら変わるところはありません。これからの時代は、その価値を改めて認識するとともに、さらに高めるために、それぞれが力を発揮して、地域のあるべき姿を自ら模索していくことが求められているのです。

地域コミュニティは決して時代遅れの遺物ではありません。今の時代も、いや、今の時代だからこそ、地域の中で安心して心地よく暮らしたいと願う一人ひとりの住民にとって、また、住民とのパートナーシップを求める行政にとっても、地域コミュニティの活性化は重要な課題なのです。

2015（平成27）年8月に発足した谷山ふるさとコミュニティ協議会（以下「谷山ふるコミ」という。）では、第1期谷山ふるさとコミュニティプランを継承・発展させ、谷山校区に暮らす人々が今の時代にふさわしい暮らしやすさを実現していくため、ここに「第2期谷山ふるさとコミュニティプラン」を策定しました。これからの谷山校区のまちづくりを、谷山の未来を、共に切り拓いていきましょう。



第2期谷山ふるさとコミュニティプランの期間
2022（令和4）年4月～2027（令和9）年4月

※このプランは5年ごとに見直すこととしています。

目次

1	はじめに.....	P2
2	第1期プラン総括・今後の方向性.....	P3
3	次なるステージ.....	P4
	楽しさの場づくり.....	P5
	会話の場づくり.....	P8
	参画の場づくり.....	P8
	共有の場づくり.....	P8
4	地域を知ろう.....	P11
5	ユースからの提案.....	P13
6	第2期プランの推進体系図.....	P14
7	おわりに.....	P14



第1期プラン総括・今後の方向性

谷山ふるコミでは、第1期谷山ふるさとコミュニティプランのもと、「心豊かに暮らせるまち 魅力あふれるまち 谷山」をスローガンとし、谷山の理想の未来に向けたまちづくりの目標（将来像）「人がつながり声をかけあう 笑顔とやさしさのまち 自然と伝統が生きづく みんなが夢を描けるまち」を掲げ、さらにその将来像を実現するための具体的な取組として、5つの新たなプロジェクトを始動・展開するなど、全体を通して着実な取組を進めてきています。

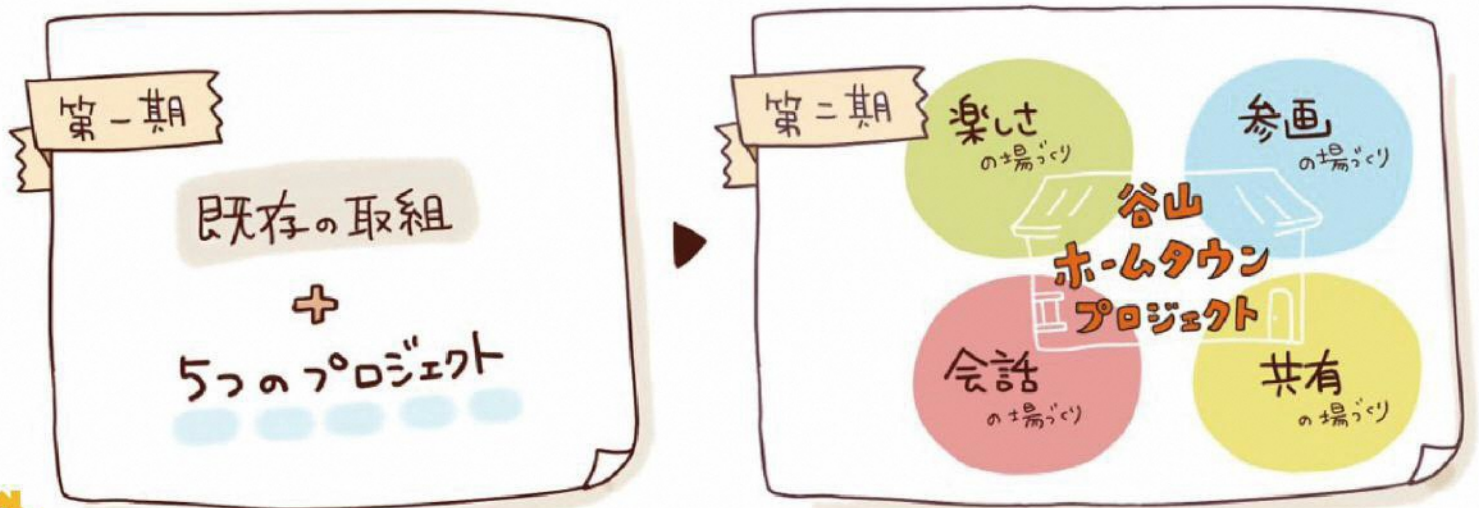
一方で、第2期プラン策定に向けたワークショップの中で、次のようなことが課題・要望として挙げられました。

- 谷山ふるコミを活性化させるためには、特に現役世代が地域の活動に積極的に参加することが必要！
- 谷山ふるコミの主催イベントには毎回多くの参加者がいるが、やや参加者が固定化している！
- 地域活動は、強制参加ではなく、“ゆるく”参加して、“楽しく”活動するという視点が必要！
- 多様な価値観を持つ住民が、自由に参加できるワークショップや交流会を開催してほしい！
- 地域活動には、共感して支えてくれる仲間やサポーターの存在が不可欠！
- 谷山ふるコミはもとより各種団体活動の認知度を高める取組が必要！



第1期では、それまで実施していた「既存の取組」に加え、「5つのプロジェクト」に取り組み、谷山の地に種をまき、水をやって育ててきたところです。いま、その種が花を咲かせようとしているところですが、花を咲かせる過程で見えてきた課題や要望を踏まえ、第2期では、既存の取組や5つのプロジェクトをそれぞれ発展・継承させた上で、「種をまく」、「花を咲かせる」、そのための「環境をつくる」、それら全体を一つのプロジェクト（＝谷山ホームタウンプロジェクト）として取り組むことで、谷山ふるコミを次の新たなステージに進めることとします。

谷山ふるコミは、次の新たなステージへ

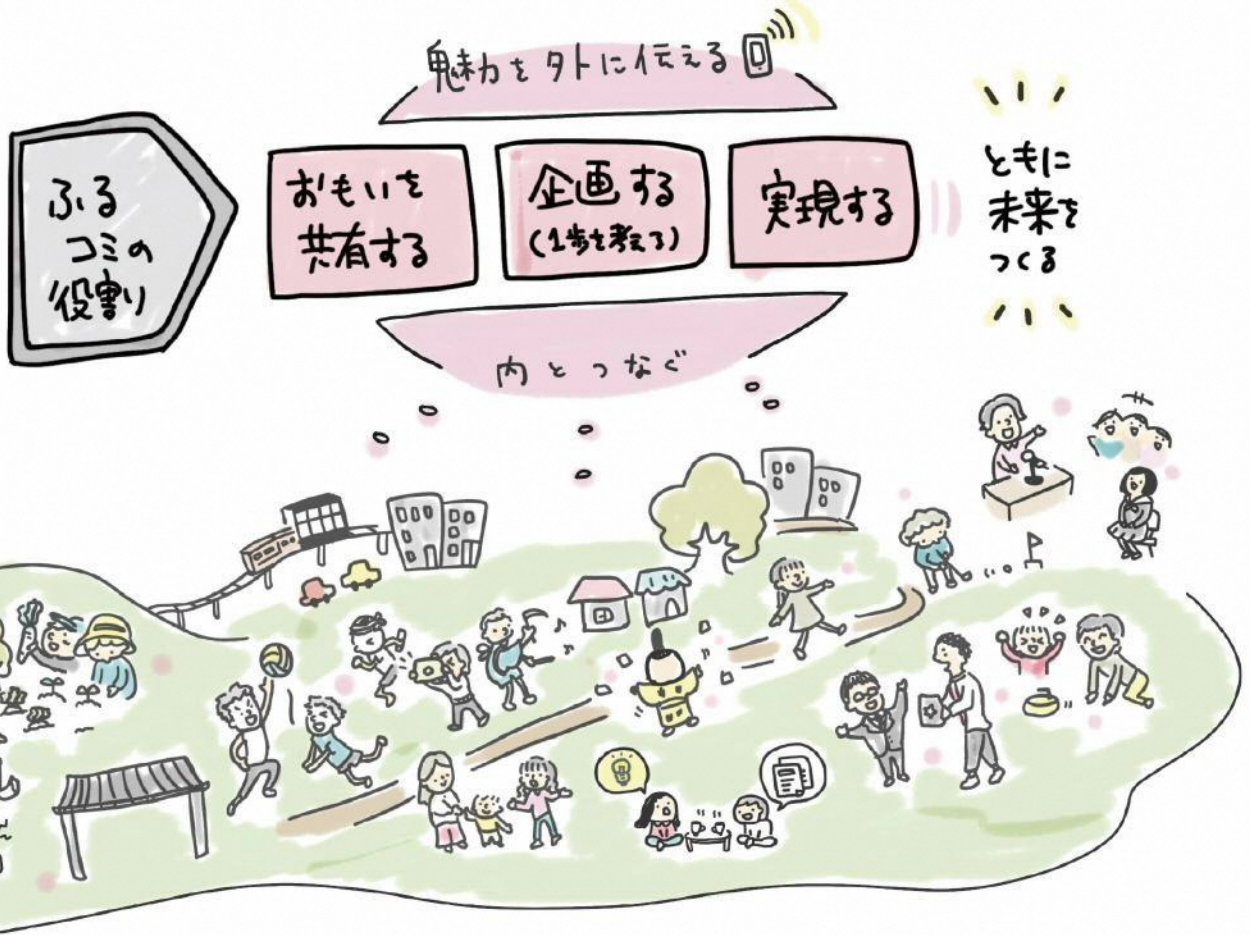


将来像

- △ 人がつながらり声をかけあう笑顔とやさしさのまち
- ▽ 自然と伝統が生きづく みんなが夢を描けるまち

スローガン
 心豊かに暮らせるまち
 魅力あふれるまち谷山

谷山ホームタウンプロジェクト



ルール


 やりたいこと・できること
 求められていることの
 重なる取組を考える


 小さく始めて
 大きく育てる


 お互いのペースを
 大切にする



谷山ふるコミの多くのイベントを通して、子どもから高齢者まで、様々な人が関わり合い、活動することで、地域に新たな可能性が生まれるとともに、ゆるやかなつながりを生むきっかけとなります。谷山ふるコミのイベントに参加すれば、いつも楽しく活動できる、誰かとの出会いがある、自然や文化を身近に感じることができる、地域を盛り上げていると実感できる、新たなつながりが生まれる。そんな、住民がまた参加したいと感じる「楽しさの場」をつくります。

scene 01 出会い、ふれあい 人や時間を大切に そうだ！歩いてみよう

日頃の運動不足を少しでも解消しようと、昨日、町内会の回覧板で見た「**谷山ふるさと歩こう会**」に参加しました。実際歩いてみると今まで気づいていなかったことがいっぱい。路地に咲く花や鳥のさえずり。身近な自然も、意識してみると小さな発見がいくつもある。車の中からの景色とは違って見えたり、細い路地に入って、また新しい発見ができたりして。歩いて体力づくりにもいいし、必要ですよ。そして何よりいいことは、参加者同士、歩きながらの「はじめまして」、「よろしく！」。次は、歩きながらの会話で盛り上がった「**ふれあいラジオ体操**」や「**校区体育祭**」に子どもと一緒に参加することにしました！



scene 02 大人も子どもも みんなで季節を実感する 身近に自然のある暮らし

テレビを見ていたら、田舎に住む人が「ここは何もないから」とため息。一方、都市部から訪ねた人が反論します。「何もない？何を言っているんですか！豊かな自然があるじゃないですか！」。自然は宝物、貴重な財産。谷山校区は都市化が進む中でも、豊かな自然が息づくまちなんです。スーパーでしか野菜を見たことがなかった子どもに少しでも生きる力を身につけてほしいと、去年初めて「**谷山ふるさと自然体験塾**」に参加。野菜がどう成長していくかを覚えていくし、野菜嫌いも虫嫌いも少し克服。明日は、娘の友だち家族と一緒に「こやんと農園」でスイカの苗の植え付けだ。帰りはコミュニティバス「あいバス」に乗ってゆっくり帰ろうかな～



scene 03

谷山で学ぶことは 谷山で生きる喜びを知ること 学びでつながるコミュニティ

子どもって急に成長する時がありますよね！うちの息子はこの前の「**谷山ふるさと寺子屋**」の防災キャンプで小学校に宿泊したときからがそうなんです。自分の気持ちと向き合い何かを感じたのかな？地域住民、学生、保護者などの中の、地域の隠れたユニークな人材がそれぞれの得意技を活かして「今日のせんせい」になり、様々な体験活動や世代間交流のプログラムを実施している谷山ふるさと寺子屋は、まさに「地域に学ぶ」入口的な場。谷山に暮らす誰もが気軽に学べる場として、また、地域に伝わる技術や文化を継承する場として、大人と若者（子ども）と一緒に学び合えますよね。



scene 04

気負わず気軽に楽しもう スポーツ弱者を谷山からなくす 誰もが楽しめるスポーツ

この前、雑誌に「ゆるスポーツ」のことが載っていました。中心に穴が空いたラケットを使うブラックホール卓球とか、年齢や性別、運動神経や運動経験、障がいの有無に関係なく、誰もが楽しめるように考え出されたものみたい。笑えるポイントを押さえながらも誰もが公平に、健康的に楽しめるというしっかりとしたコンセプトがあるんです。真剣なプレーの中に笑いの要素を入れることで、たとえ失敗しても周りの人を笑わせることができるので、ミスが怖くなくなり自信につながるみたいです。谷山ふるコミでも「**谷山コミ・レク**」にゆるスポーツの要素を取り入れたいとのこと。さあ、谷山からスポーツ弱者を一掃だ！



scene 05

一人ひとりが 心豊かに生きる社会を 芸術・文化を大切に育てる

生き生きとした暮らしを送るためには、身体的な健康はもちろんのこと、心の健康を保持することが大切ですよね。「**谷山ふるコミふれ愛フェスタ**」では、趣味を活かした活動発表が披露されていました。歌あり踊りあり、とても賑やか。地域の皆さんが、学びの場、また交流の場として、より身近な場所で、文化活動に参加し、文化を鑑賞し、時には自らが創造することができる場になっているようでした。私たちが暮らす身近な場所で文化が育つことは、文化を大切に育てる心、地域における文化の振興にもつながるものです。「**谷山芸術文化元気プロジェクト**」では、身近にある伝統的な行事や祭りなどの継承や、地域の特色ある文化活動の推進、豊かな自然を活かしたまちづくりなどを進めることとしているようなので、参加が楽しみです。





scene 06 スポーツ環境の充実 スポーツ人口の拡大 スポーツで地域を元気に

先日、「校区ソフトボール大会」の応援に行きました。谷山中学校のグラウンドに行く、学校の先生チームも参加されていて、町内会チームの応援だけでなく先生チームの応援にも力が入りました。スポーツには、心身の健康を増進させるだけでなく、地域経済の活性化を誘導する力、希薄化しつつある地域コミュニティを活性化させる力など、まちを元気にしてくれる多様な力があるんです。スポーツの力は無限大。応援するのももちろん楽しいけれど、私も体力づくりから始めて、学生時代のバレーボール経験を活かして今度の「校区バレーボール大会」に参加してみようかな。子どもと一緒に参加できる「校区グラウンドゴルフ大会」も楽しそう。



scene 07 「谷山」のゆるキャラを活かして 谷山の魅力・特色を県内外に発信！ 「谷じい」と一緒に地域を盛り上げよう

谷山ふるさと祭を見に行ったら、「谷じい」がパレードに参加していました。沿道のみんなに笑顔をふりまいて、踊り連では校区のみんなと一緒に踊っていましたよ。自分たちの地域にゆるキャラがいるってステキですね。「谷じいプロジェクト」として、谷じいには、これからも地域のイベントにどんどん参加してもらって、みんなに人気の谷山のゆるキャラになってもらい、谷山を盛り上げていてもらいたいですね。「谷じいスタンプラリー」では、イベントに参加しているいろんな谷じいグッズも集められて、より谷じいを身近に感じられますよ。



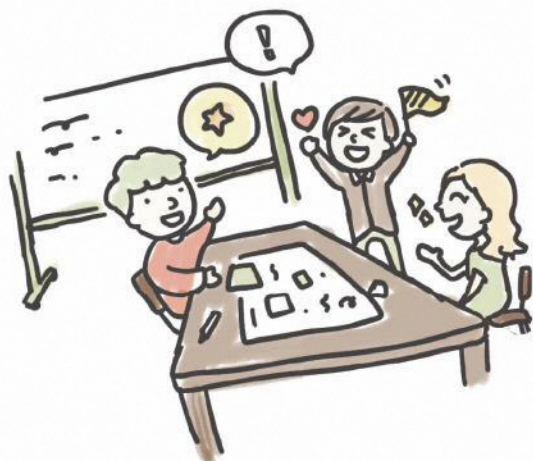
scene 08 地域みんなで子育て 将来に夢と希望を どの子どもみんな育て“愛”

朝の登校時間に合わせて、「子ども守り隊」として安全見守りの活動をしています。「おはようございます！」元気いっばいの声で次々と子どもたちがあいさつをしてくれます。この前開催された「夏の青少年健全育成大会」で小学生を代表して意見発表してくれたA君、ランドセルを背負って私の立っている交差点を毎日通っていきます。それまではあいさつぐらいで話をかわすこともなかった子だったけど、発表を聞いてからは「最近、学校はどう？」なんて少し声かけてみるようになりました。中学2年生になった時の「立志の集い」では、また一段と成長した姿を見せてくれるのでしょうか。『人と人との“きずな”は、あいさつから始まる』地域みんなで温かな声かけができるっていいですね。



会話の場づくり

TANIYAMA(たにやま) ミーティング



昨日までの常識が、明日からは非常識に変わっているともいわれるようなこの時代。今、必要なのは、「正解」よりも、一人ひとりの「理想」。ここでは、一人ひとりが理想の実現に向けた一歩を踏み出す場所。所属も年齢も性別も、あらゆる垣根を越えて、理想を語り合う場所。ルールはたった一つ、応援し合うこと。多様な価値観を持つ方々が、気軽に参加できるような、テーマ別のワークショップや交流会を開催するなど、「会話の場」をつくれます。

参画の場づくり

谷山ふるコミサポーター制度



まちづくり活動には、活動に賛同し、応援し、一緒に参画してくれるボランティアやサポーターの方々が不可欠です。元気な高齢者、セカンドライフを迎える方や若者の中には、「まちづくり活動に興味はあるけど、何をしたいかわからない」、「まちづくりに関係するボランティア活動してみたい」という声があります。そのような気持ちを持っている地域の仲間を巻き込み、谷山の活性化のために活躍してもらうための「参画の場」をつくれます。

共有の場づくり

多様な地域活動を発信



ホームページやSNSなどで、谷山ふるコミの活動はもとより、構成団体の各種活動、各種行事に参加する方の声などを積極的に発信することで、谷山ふるコミや各種団体の活動の認知度を高めるとともに、地域に住む方はもちろん、谷山に興味のある方などに、谷山のことをより深く知ってもらい、ひいては谷山のまちの活性化につなげていきます。そのような、地域活動のきっかけとなるような情報を含む、谷山の様々な情報を共有するための「共有の場」をつくれます。

01. そうだ！歩いてみよう

★谷山ふるさと歩こう会

谷山小学校から歩いて30～40分程度の場所にある公園などを目的地に設定し、一緒に歩きます。また、直接目的地に集合することもでき、自分に合ったペースで、無理なく、気軽に参加できます。年に5回開催しています。

★ふれあいラジオ体操

夏休みの最初の土曜日に、谷山小学校校庭において、小学生をはじめ、保護者、先生、地域の方々と一緒にラジオ体操を行っています。子どもたちに、夏休みを通して健康で規則正しい生活習慣の「はじめの一步」を踏み出してもらうことを期待しています。体操のあとにはお楽しみ抽選会も行われ、子どもたちはわくわくソワソワ、大はしゃぎ。長い夏休み期間も、元気にラジオ体操をがんばれそうです。

★校区体育祭

幼児から高齢者まで、多くの校区民が一堂に会し、スポーツを通じた健康増進や体力向上、お互いの親睦を図ることなどを目的に開催。どの年代の方も参加できるプログラムを用意するとともに、応援だけの方もいるなど、地域づくりや交流を通じた生涯学習の場となっています。毎回大会役員として、谷山中学校の生徒百数十人が参加してくれています。

02. 身近に自然のある暮らし

★谷山ふるさと自然体験塾

自然とふれあう機会や農作業などの直接体験をすることも減ってきている昨今、谷山に残る豊かな自然を再発見するとともに、「こやんと農園」でさつまいもやスイカの栽培を通して、土とふれあう農作業を体験したり自然の中で学ぶ場になったりしています。

03. 学びでつながるコミュニティ

★谷山ふるさと寺子屋

地域に暮らす様々な特技を持つユニークな人材を「今日のせんせい」として迎え、様々な世代が交流を深めながら、誰もが気軽に学べる場を作っています。防災キャンプや工作教室、なんこ大会など、毎回、様々なテーマで開催しています。

04. 誰もが楽しめるスポーツ

★谷山コミ・レク

年齢・性別に関係なく、運動が苦手でも、誰もが楽しめる「ニュースポーツ」「ゆるスポーツ」を行います。これまで、フロアカーリングやポッチャなどを実施。地域の方々が、健康づくりやレクリエーションの一環として楽しむとともに、様々な世代をつなぐ交流の場となっています。

05. 芸術・文化を大切にすることを育てる

★谷山ふるさコミふれ愛フェスタ

地域で活動する各種の学習・文化サークルなどが、日頃の活動や成果を舞台や展示などで発表する、文化祭のような催しです。来場者が気軽な雰囲気を楽しめるよう、オープンカフェ風に椅子を配置したり、体育館内のカフェコーナーで淹れたてのコーヒーやクッキーなどの販売をしたりと、様々な工夫をしています。

★谷山芸術文化元氣プロジェクト

校区内には、美術館や図書館、ホールなど様々な文化施設があります。また、いくつかの町内会には、古くから続く伝統行事もあります。心豊かで潤いのある生活を送るため、また、地域に誇りと愛着をもたらす、明るい元氣なまちづくりをするため、多様な世代が参加、体験できる文化活動の機会を充実させる場を作っています。

06. スポーツで地域を元気に

★校区バレーボール・グラウンドゴルフ・ソフトボール大会

校区民の親睦や体力向上、健康の保持・増進を図ることを目的に、バレーボールやグラウンドゴルフ、ソフトボールなどの大会を開催しています。交流人口を増やし、地域の活性化が促されるとともに、参加者間による相互の応援を通して、町内会などの連帯を深めています。

07. 「谷じい」と一緒に地域を盛り上げよう

★谷じいプロジェクト

「谷じい」は、地元谷山のゆるキャラとして、地域の様々なイベントに参加しています。谷山地域活性化の旗振り役として、ひばりのひーちゃんと一緒に谷山の魅力・特色をPRし、谷山全体を盛り上げていきます。「谷じいスタンプラリー」では、オリジナルの谷じいグッズを準備しています。

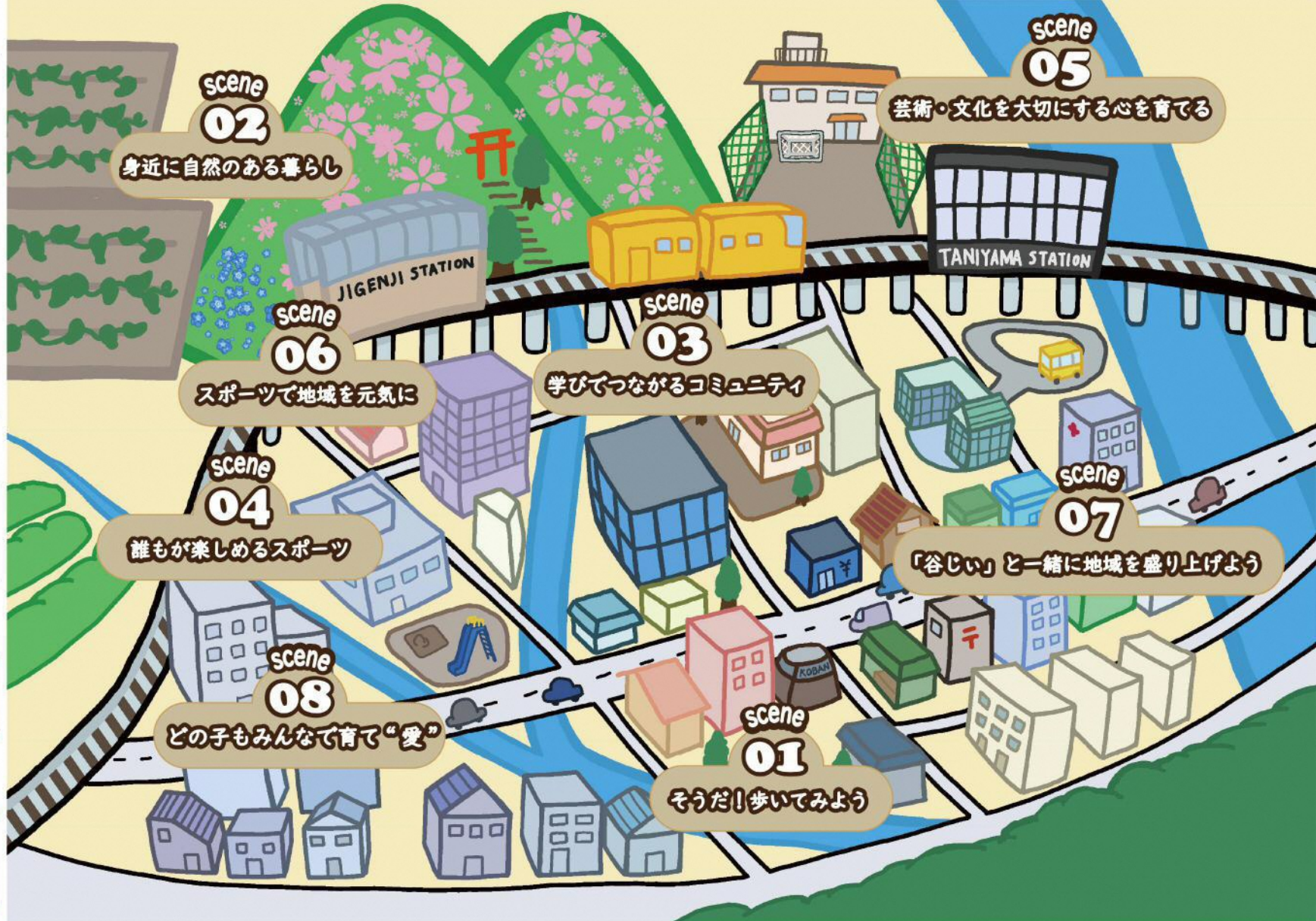
08. どの子どもみんな育て“愛”

★夏の青少年健全育成大会

「明るく たくましく すこやかに」をテーマに、校区内の青少年健全育成に関わる方々のほか、多くの地域住民が一堂に会し、課題の共有を図るとともに、その課題解決や実践活動への決意を新たにすため、講演や小中高生の意見発表などを行っています。

★立志の集い（冬の青少年健全育成大会）

満14歳になった子どもたちの成長を祝福するとともに、将来立派な社会人になるための責任ある行動がとれるよう決意を新たにしてもらうことなどを目的に、昔の元服の式にあたる式典として、講演や生徒の決意表明（立志の誓い）などを行っています。また、コロナ禍の中、生徒一人ひとりの立志の決意を編集した記念文集も発行しています。



みんなと一緒に 楽しく学ぶ



野田 百合子
女性学級長

女性学級は、女性の自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性の養成や能力向上を目的に、年10回開催しています。①新しいものに挑戦する一歩を踏み出す足掛かり、②生きる喜び、学び喜びを見つけるきっかけ、③地域に住む指導者の発掘や身近な人から学ぶ大切さを感じ取る、そうした内容になるよう計画しています。気軽に参加し、幅広い年齢層の中で仲間を作り、学ぶ楽しさを味わってほしいです。また、それが地域を盛り上げる力になると思います。

ずっと住みたいまち



広田 かずえ
プロジェクト参加者

私が最初に谷山ふるこみのイベントに参加したのは5年前。県外出身の私たち夫婦は、親子で色々な活動に参加するようになり、どんどん谷山の魅力を知って、改めて谷山に永住を決めて良かったと思いました。毎年楽しみなさつま芋の苗植えと収穫や、歩こう会での谷山神社の初詣。3年前のふるさと祭やおはら祭で、仮装してみんなで踊ったのが、一番楽しかった思い出です。これからも、谷山ふるこみの方たちと一緒に谷山をもっともっと盛り上げていきたいと思っています。

地域の先生



泉 安明
プロジェクト参加者

寺子屋プロジェクト「親子で家具を作ろう」に今日の先生として参加しました。そこで子どもたちに伝えたかったのは、ものづくりの楽しさ、資源の大切さ。材料は全て「蘇生材」を利用し、廃材から「こんな物が作れるんだあ!」とか「もったない」、「もっと物を大事にしよう」という気持ちが芽生えてくれていたら嬉しいです。また、大事なのは、完璧な物を作る事ではなく、親子で一緒に作る体験。このような体験が夏休みの思い出の一つになるといいと思います。

人は宝



宮園 星子
ワークショップ参加者

谷山は昔からの住民と若者たち（学生、子育て世代）が入り混じる、ある意味バランスのとれた地域です。あらゆる世代が語り合い、意見を言い合える場が、もっと気軽にあればと思います。今回、ワークショップに参加して、地域コミュニティがたくさんの人々によって支えられていることを知りました。人は宝です。一人ひとりの持つポテンシャルを最大限発揮し、様々な目線から「谷山のまち」に関わり、ますます活気ある谷山になってほしいと思います。

谷山の魅力



奥 好子
ワークショップ参加者

「谷山の魅力」って何でしょうか。自然・文化・伝統など、普段、暮らしているだけでは感じることはできない豊かさがあります。今回、第2期プラン策定に向けたワークショップに参加しました。ここでは、参加者がそれぞれの視点で谷山の魅力について話し合いました。「誰かをこんなに夢中にさせるような場所に私は暮らしているのだな」と、うれしく思いました。谷山の魅力が、多くの人に届くように、この活動の輪が広がればいいなと思いました。

地域との連携



相場 敏男
かごしま市商工会青年部谷山支部

かごしま市商工会青年部は、地域の振興・発展を目指し、地域に根ざした活動を行っている組織です。谷山ふるこみとの関わりは、谷山最大のイベントである「谷山ふるさと祭」に谷じいと一緒に参加していただいていること。直近では、「谷山駅前フェスタ」で事前の広報や当日のイベントに参加して盛り上げていただきました。今後、青年部としても、谷山地区を盛り上げるために互いのイベントを通して協力できる関係を築いていきたいと思っています。



ユースからの提案

谷山ふるコミでは、2021(令和3)年度に「ユースミーティング谷山」を設置し、理想の未来を実現するための一つの取組として、若い発想力をこれからのまちづくりに活かす取組をはじめています。新型コロナの影響により十分な活動はできませんでしたが、鹿児島国際大学国際文化学部(内山ゼミ)の学生と鹿児島情報高校普通科2年生とで行ったミーティングなどを踏まえ、今回、鹿児島国際大学の学生から提案をいただきました。今後の谷山ふるコミの活動に活かせるよう、検討していきたいと考えています。



谷山を綺麗で安心できる町に!
4年 上村 遼

谷山は良い町ですが、改善点もあるようです。それは永田川のニオイとまちの治安。祖父母の代から谷山に住んでいる私は気づかなかったのですが、永田川のニオイが気になる人はかなりいるようです。コロナ禍以前は近くの鹿児島情報高校による清掃活動も行われていたようですが、それがないとやはりニオイがしてしまうようですね。そこで、谷山ふるコミの活動に清掃活動を取り入れてみるのはいかがでしょうかと考えました。私たちが自分の住む地域の現状を知り、環境について考える機会になるかもしれません。

次に、治安の問題です。住んでいて特に治安が悪いと感じたことはありませんが、谷山は治安が悪いというイメージを持たれているなど感じる場合があります。本当は、ただ若者が集まっているだけだったりするので、谷山をアピールする場、例えばコミュニティプランや谷山ふるコミのSNSなどを通して発信し、このちょっとした認識のズレを解消できたらいいのではないかと思います。「若者が集まって楽しく過ごせるまち」と「みんなが安心して住めるまち」の両立ができると素敵ですね。



何度も探検したくなる谷山に!
4年 茶園 梨乃

私の趣味はカフェ巡りです。おしゃれでゆったりできるカフェが好きで、谷山には路地にひっそりと現れる穴場が多く、行きたい場所がいくつもあります。でも、大学へ車通学している私が、学校帰りにふらっとカフェに寄りたいたくても駐車場がありません。一方で、谷山小の子どもたちとまち探検をした際に、車道が狭く細い道が沢山あり迷路のようで楽しかった記憶があります。そこで、駐車場を別の場所に整備し、谷山のまちを探索しながらカフェに行くことができれば、アピールポイントがまた一つ増えるのではないのでしょうか。

また、三宅美術館で行われた海中遺跡と豊かな自然に関する写真展で、子どもたちに潜水服を着させるなど、運営のお手伝いをさせていただく機会がありました。谷山ふるコミの方が子どもたちに「いつも来てくれてありがとう」といった声かけをしているのが印象的で、子どもたちがリピーターとなって谷山ふるコミの活動に参加していることが分かりました。リピーターである子どもたちが地域内外の友だちを連れてきてくれることで、より谷山ふるコミのファンの幅が広がってくると思います。



谷山や谷山ふるコミの認知度を
もっと上げたい!
3年 内村 陸人

僕は鹿児島情報高校出身ということもあり、谷山地区にとっても馴染みがあります。しかし、高校生の時からInstagramを使っていますが、地元・谷山の情報がなかなか得られないと感じていました。

谷山を盛り上げるにはどうすればいいかを考えた時、谷山ふるコミでは公式HP等で発信をしていますが、多くの若者が利用しているInstagramでの発信が大切だと考えます。その具体策として、ハッシュタグの活用も大事だと思います。ハッシュタグを使うことで、検索に引っかかりやすくなり、そのカテゴリに興味のあるユーザーが自分の投稿を見られる可能性が高くなるからです。投稿内容は、谷山ふるコミの活動はもちろん、谷山の様々なお店を継続的にアピールしていけたらいいと思います。また、新規ユーザーの獲得を狙う投稿のほかに、ストーリーズ機能を使い、生活していて感じたことや、身の回りのちょっとした変化(景色や食べ物)をこまめに投稿することも大事です。

これらの投稿を通じてフォロワーなどとコミュニケーションを図り、谷山や谷山ふるコミをより身近に感じてもらうことで、多くのファン獲得に繋がることが期待できると思います。

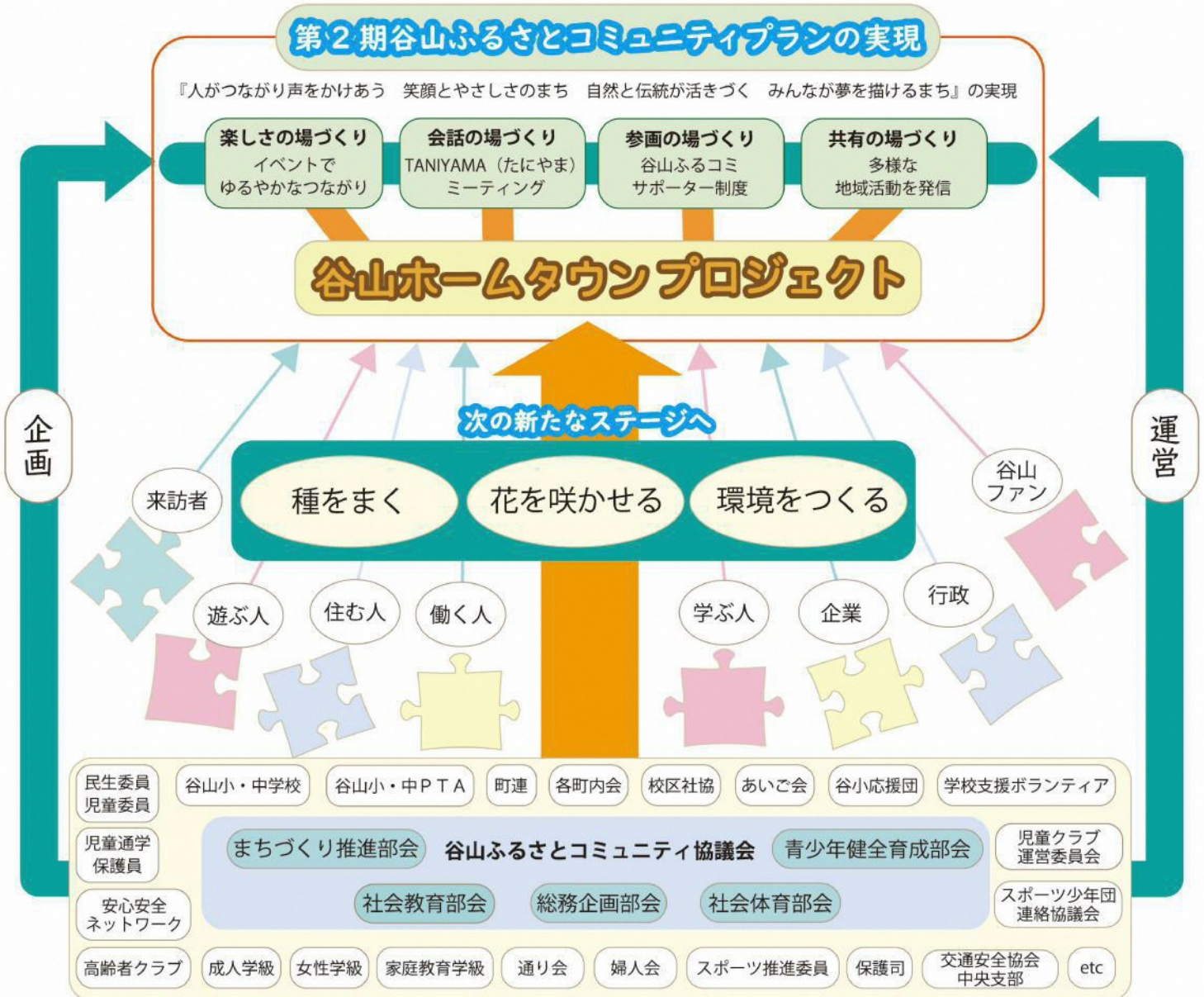


意見あふれる町に!
4年 家村 尚宏

私は鹿児島国際大学に入学し内山ゼミに入ってから、谷山に直接的な関わりを持つようになりました。というのも、私はこれまで、谷山に住んだことが無く、訪れることもほとんど無かったからです。しかし、内山ゼミの活動として、谷山小の子どもが参加するまち探検に参加したり、谷山ふるさと祭で地域の方々と一緒に踊ったりと、谷山での活動の機会を多くいただきました。

これらの活動は、内山ゼミの先輩方、内山先生と谷山ふるコミの方々との関係が築かれていたからだと感じています。令和3年度には、更に鹿児島情報高校とのユースミーティングがありました。谷山について積極的に意見を交わしながら、谷山を住みやすいまちにするためにはどうしたらいいかを若者の視点から考えてきました。

こうした活動を通して、我々大学生は、幼稚園、小学校、中学校、高校などと連携しながら、若者の視点からまちをよくするためのユースミーティングを継続的に行うとともに、谷山に住む人だけでなく、通う人、関係する人などの意見も取り込むための、谷山との架け橋を担わなければならないと感じました。



谷山ふるさコミでは、2017(平成29)年に「第1期谷山ふるさとコミュニティプラン」を策定し、「心豊かに暮らせるまち 魅力あふれるまち 谷山」をスローガンとして、2021(令和3)年度までを計画期間とした取組を進めてきました。第1期プランの計画期間が終了するに当たり、まちづくりの将来像を引き継ぎつつ、これまでの取組の成果や課題・要望、谷山の置かれた現状などを踏まえ、このたび、「第2期谷山ふるさとコミュニティプラン」を策定しました。本プランでは、第1期で取り組んできたプロジェクトなどをそれぞれ発展・継承させた上で、谷山ふるさコミを次の新たなステージに進めるための「谷山ホームタウンプロジェクト」に取り組むこととしております。これまで同様、谷山のまちづくりに地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えていますので、引き続き、ご理解・ご協力をお願いします。結びに、本プラン策定に当たり多大なご協力・ご尽力をいただきました一般社団法人テンラボの「れいこっぷ」こと小林礼奈さんに感謝申し上げますとともに、コミュニティプラン策定委員会(谷山ふるさコミまちづくり委員会)のワークショップにご出席いただき、様々なご意見やご提言をいただくなど、プラン策定にご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



心豊かに暮らせるまち 魅力あふれるまち谷山

人がつながり声とかけあう
笑顔とやさしさのまち
自然と伝統が活きる
みんなが夢を描けるまち



谷じいプロフィール

谷山に住む妖精。

父親の後醍醐天皇に、征西大將軍（せいせいたいしょうぐん）として九州統一を任された懐良親王（かねながしんのう）。まず最初に谷山に滞在し、南朝方の指揮をとった。その後、九州北部に移動して九州統一を果たした。谷山が大好きで忘れられず、妖精となって谷山に帰って来た。

ひばりの「ひーちゃん」と穏やかに暮らしている。みんなの願い事をかなえてくれる、と言われている。口ぐせは「せい、せい」。好きな食べ物は、じゃんぼもち・そうめん・さつまあげ・チーズケーキ。お祭り好きで、「谷山ふるさと祭」では、踊り連に入って踊っているらしい。

事業名：第2期谷山ふるさとコミュニティプラン策定事業
策定期間：2021（令和3）年4月～2022（令和4）年3月
事業主体：谷山ふるさとコミュニティ協議会
コーディネーター：小林 礼奈
（一般社団法人テンラボ プロデューサー）



【本プランについてのお問い合わせ先】

谷山ふるさとコミュニティ協議会

〒891-0141 鹿児島市谷山中央1丁目4962

Tel 099-800-2658

Fax 099-800-8056

E-mail tani-furu.c.c@cvn.bbq.jp

HP <http://www.tani-furu.com/>